

国道357号東京湾岸道路環七立体

受賞機関 国土交通省関東地方整備局首都国道事務所

事業の概要

東京湾岸道路は、東京湾を取り巻く千葉県、東京都、神奈川県沿岸沿いに、千葉県富津市から神奈川県横須賀市に至る延長約160kmの幹線道路である。

このうち、国道357号と環状七号線(環七通り)が平面で交差する東京都江戸川区葛西臨海公園前交差点は、周辺に大規模レジャー施設(東京ディズニーリゾート・葛西臨海公園)や、流通業務施設等が立地していることから、慢性的な交通渋滞が生じていた。このような状況の対策として、当交差点の立体化事業を推進し、平成15年11月に海側(都心方面行き)が開通した。

施設概要

箇所：東京都江戸川区臨海町6丁目地先

延長：2,200m(うち橋梁部1,150m)

構造規格：道路種別：3種1級

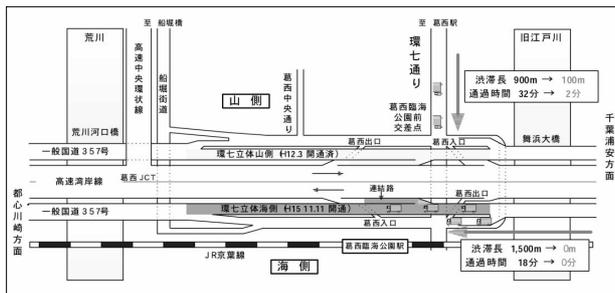
設計速度：80km/h

車線数：2車線

交通量：約32,000台/日(海側)

総工費：約60億円(海側)

工事着手：平成11年度



事業の整備効果

(1) 葛西臨海公園前交差点では、国道357号(都心方面行き)の通過に約18分かかっていたが、立体交差となったことから渋滞が解消された。

同様に、環七通りから国道357号都心方面への通過時間が約32分から約2分へと大幅に短縮。

(2) 国道357号舞浜交差点から葛西臨海公園前交差点間(約1.5km)のピーク時(7時台)の平均走行速度

が約6km/hだったものが、約60km/hまで向上。

(3) この立体の整備による時間短縮の効果を金額に換算すると、国道357号では年間約8億円、環七通りでは年間約30億円の効果になり、年間約38億円の走行時間短縮便益が見込まれる。

(4) 当交差点付近の渋滞が解消され、走行速度の向上による自動車排出ガスが年間で、窒素酸化物(NOx)約10t、浮遊粒子状物質(SPM)約2tの削減が見込まれる。

(5) 道路利用者からは、「ディズニーランドから葛西入口までスムーズになった」(路線バス運転手)、「時間の予測がつくようになった」(タクシー運転手)等々の声も寄せられている。



全景



施工前



施工後

おわりに

このように渋滞の緩和、地域の発展、沿道環境を改善するための施策を重点的に進めていくなかで、「成果」をきちんと把握・評価し、その結果をこれからの道路事業に反映していくことが、ますます重要である。

賛助会員 (株)安部工業所、石黒建設(株)、木原建設(株)、(株)栗本鐵工所、(株)サクラダ東京本社、(株)白石、住友金属工業(株)、(株)名村造船所、日立造船(株)